

ラケット基礎情報

ラケットはグリップやブレードの形状によって分類されます。主な種類とアイコンなどを紹介します。

▶ 代表的なラケットの形状

■ シェークハンドラケット

握りをするようにグリップを持つことからこの名がついています。両面にラバーを貼って使用します。現在の主流ラケットで、多くのプレーヤーが使っています。



■ 日本式ペンラケット

ペンを持つようにグリップを握るもので、以前は国内で最も多く使われていました。片面だけにラバーを貼って使用することが多かったのですが、現在は両面に貼ってプレーの幅を広げる選手も増えています。



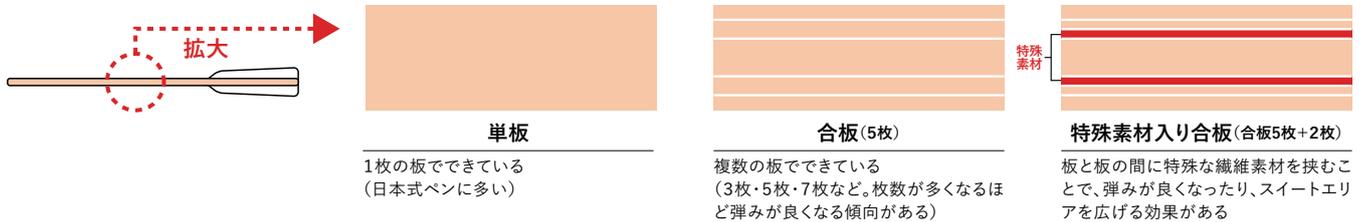
■ 中国式ペンラケット

シェークハンドラケットのグリップが短くなったような形状で、日本式ペンと同様に、ペンを持つようにグリップを握ります。両面にラバーを貼って使用することが多いです。



▶ ラケット合板構成

ブレード部分の板の構成はだいたい以下のように分類できます。



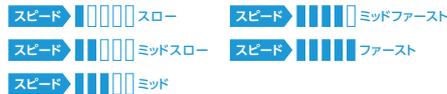
▶ ラケットアイコン説明

■ 戦型



攻撃時に威力が出る**攻撃用**、適度な弾みで扱いやすい**オールラウンド用**、大きいブレードで弾みを抑えた**守備用**

■ スピード



フラットに打った際の弾みファーストに近いほどボールの飛び出しが速い

■ 打球感



合板の硬さ、しなりの度合いなどを考慮して振り分けた打球時の感覚

■ 合板構成



■ サイズ

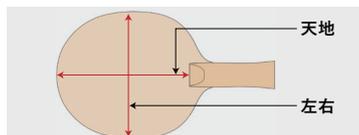


ウッドエッジガード



▶ ブレード・グリップのサイズ表記

■ ブレード



■ グリップ

